

令和7年度 函館市食育計画策定推進委員会

会議概要

- **開催日時** 令和7年8月29日（金）16時30分～17時30分
- **開催場所** 函館市総合保健センター 2階 健康教育室
- **会議内容**
議題
 - (1) 第3次函館市食育推進計画の指標の現状値および取り組みについて
 - (2) 第3次函館市食育推進計画の中間評価（案）について
 - (3) 令和8年度食育推進事業の実施予定について
 - (4) その他
- **資料**
 - ・ 会議次第
 - ・ 資料1：第3次函館市食育推進計画 指標の現状値および指標に係る取り組み
 - ・ 資料2：函館市食育推進の取り組み
 - ・ 資料3：函館市食育計画策定推進委員会構成団体の取り組み
 - ・ 資料4：第3次函館市食育推進計画中間評価（案）
 - ・ 資料5：第3次函館市食育推進計画の目的達成に向けた重点取り組み
 - ・ 資料6：令和8年度食育推進事業（案）
- **出席委員（13人）**（委員長，副委員長以外は五十音順）
池田延己委員長，木幡恵子副委員長，
東清美委員，梅田由美委員，大室文子委員，木下あやこ委員，
小林博子委員，坂本政博委員，佐々木和子委員，田手淳委員，
中村享子委員，向大喬委員，山崎雄二委員
- **報道機関**
なし
- **事務局**
(保健福祉部健康増進課)
前田由季課長，澤中真奈美主査，有賀友香主任，佐賀井緑主任技師，
高橋朱音主事

■ 会議要旨

1. 開 会

(事務局) 澤中主査

本日は、お忙しい中、また、お仕事でお疲れのところご出席いただきまして誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度函館市食育計画策定推進委員会を開催いたします。本日、司会を担当します健康増進課の澤中です。本日の委員会でございますが、委員総数15名中13人の委員にご出席いただいております、「函館市食育計画策定推進委員会設置要綱」第6条第3項の規定により、委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

さて、当委員会につきましては、「公開」により行いたいと思っておりますので、ご了承願います。また、委員会の内容につきましては、後日、事務局で会議録を作成し、市のホームページ上で公開してまいりたいと考えており、会議録作成のため、録音させていただいておりますことをご了承いただきますようお願いいたします。

本日の資料を机上配付させていただきました。次第の配付資料のとおりとなっておりますが、お手元に揃っておりますでしょうか。

2. 保健福祉部健康増進課長挨拶

(事務局) 澤中主査

次に、前田健康増進課長からご挨拶を申し上げます。

(事務局) 前田課長

—挨拶—

3. 委員の紹介

(事務局) 澤中主査

それでは、会議次第3の委員の紹介に移らせていただきます。

今年度より、新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、まずは、委員の皆様のご自己紹介をお願いいたします。佐々木委員から順に、お名前と、一言自己紹介をお願いいたします。

—出席委員、座席順に自己紹介—

(事務局) 澤中主査

ありがとうございました。

本日出席している事務局の職員につきましては、配布しております名簿の下部に記載してありますので、そちらをご覧ください。

4. 議 題

(事務局) 澤中主査

それでは、これより池田委員長から議事を進めていただきたいと思います。池田委員長よろしくお願いいたします。

池田委員長

皆様、お疲れ様です。それでは、早速ですが、次第にそって議事をとらせていただきます。

議題の(1)について、事務局より説明願います。

(事務局) 有賀主任

－資料1～3の説明－

池田委員長

ただいま事務局に説明していただいた内容ですが、こちらについては経過説明が主なものです。委員の皆さんからご意見・ご質問はありますか。

特に無ければ、議題の(2)について、事務局より説明願います。

(事務局) 佐賀井主任技師, 澤中主査

－資料4の説明－

池田委員長

ただいま事務局に説明していただいた内容ですが、委員の皆さんからご意見・ご質問はありますか。

目標の達成状況ですが、指標の47%がD、悪化傾向という結果でした。これは予想していた数字でしょうか？

(事務局) 澤中主査

結果として残念ながらこのような形になりましたが、これから計画期間後半の5年間かけて改善するよう進めていきたいと思っております。

池田委員長

特に驚いたのは「野菜をほぼ毎食食べる市民の割合」「食塩摂取を控えるようにしている市民の割合」です。この課題について、木幡副委員長はどう考えていくといいと思いますか？

木幡副委員長

私もこの2点が悪化傾向にあるのは気になるところで、もう少し食べているのではないかと思っていました。生活習慣病の予防に関する啓発活動を行っているのですが、なかなか浸透していなかったのかな、という思いでこの数字を見ていました。シニア大学などで話をしていると、減塩についてなど、そういう講座などに参加する方は頑張っていて、参加しない方の意識が低いのではないかと考えます。

今後どういうアプローチをしていくかは皆さんと一緒に考えながら、栄養士会は地域の栄養、健康のために動く組織なので、頑張りたいと思います。

池田委員長

「“ベジプラ！ 楽うまレシピ” 普及啓発事業」を函館アリーナの大規模イベント内で実施した際は、参加者がたくさんいたので、啓発できていたと感じましたが、そのような場に来ない人に対して、どのように啓発するかを考えなければいけないですね。

(事務局) 澤中主査

令和3年に実施した調査結果を使用し評価しているものについては、近年の事業が成果として出にくかったことは考えられます。

池田委員長

いずれにしても、考えなければならない問題ですね。

朝食についての指標は、小学生・中学生ともにD、市民の結果もDで、親世代の結果が子どもにも影響しているように見えますが、どう思いますか？

大室委員

小学生だとほとんどは保護者の方が用意しますので、そういう傾向はあると思います。子どもの生活が夜型で、朝はギリギリに起きて、慌ただしい中で朝食を食べる時間が少ないのが見受けられます。小学校は食事だけでなく生活習慣全体を見ながら、早寝早起き朝ごはんという標語を使って年間2回くらい大きく啓発している学校も多いので、そういうことをいろ

んな場面で、もう少し広げていくことも必要なのではないかと思います。

田手委員

夜遅く寝て朝ギリギリに起きるとというのが、低年齢化しているように感じます。朝食については、食べない家は食べないし、食べる家は食べるとはっきり分かれているようで、平均化されてこの数字なのではないかと感じます。生徒に対しては、食べないと午前中のエネルギーにならないよ、という話はしていますが、家庭の影響が大きいと思います。

梅田委員

校長先生方がおっしゃるように、子どもたちに声かけをしている中では、ギリギリまで寝ていたいという声をよく聞きます。

池田委員長

親世代に対しても啓発をしないと、小中学生には届かない面があるかと思っています。小中学生に関する指標の状況については、校長会で共有していただけますか。

大室委員・田手委員

はい。

池田委員長

ぜひ、全小中学校で取り組んでもらいたいと思います。

向委員

小中学生の家庭についてお話が出ましたので、発言いたします。

寝る時間が遅くなって朝食をとらない子どもの中には、ゲームして夜更かししている子どももいます。ですが、保護者間で話をすると、そればかりではない状況がわかります。

例えば母親が夕方からのアルバイトをしている場合、帰りが遅くなっても、子どもは母親を待っていて起きていることがあります。一緒にないと寝られない子どもがいるのです。そうになると、朝起きるのが辛くなる子どももいます。朝働いている場合は、朝ごはんの用意ができない・菓子パンのみといった家庭もあります。子どもより早く家を出る親もいます。

色々なものの価格が上がって、野菜や果物も高くなっています。イベントのようなものに参加するのは、余裕がある家庭が多いのではないかと感

じますので、生活に困っているような家庭に届く支援や策を考えていただかなければ、届かないと思います。

池田委員長

どんな環境にある子どもでも、気を付けていかなければ将来病気になるかもしれません。物価が上がっていることは、私自身も感じます。

中間評価については、承認するということがいいですか？

では、承認とします。

それでは、次に、議題の（３）について、事務局より説明願います。

（事務局）澤中主査

-資料6説明-

池田委員長

色々な啓発事業を行うということで、説明がありました。計画期間の後半で目標値に近付けていければと思いますし、実施していることを広めていただきたいです。こちらについては、市が主体となって取り組んでください。

他に事務局から何かございますか。

（事務局）澤中主査

毎年10月にJA函館市亀田さんで開催されるグリーン大収穫祭では、“ベジプラ！楽うまレシピ”配布のご協力をいただいておりますが、他の構成団体におきましても、集客が見込めるイベントなどでチラシの配布等にご協力いただけるような取り組みが考えられないかと思っております。パネル展等でもレシピ配布は人気であり、本市の事業評価としても配布枚数を使用していることから、積極的に配布したいと考えております。

何かご提案いただけるようなイベントや機会がございましたら、ぜひご教示いただけますと幸いです。

木幡副委員

9月29日（月）にサンリフレで介護予防の研修会があります。高齢者対象になると思うのですが、設置させてください。他にも、歯科衛生士会と実施する事業で配布できそうなので、東委員と一緒にご相談します。

池田委員長

他に協力できるのがあれば事務局の方に連絡していただければと思います。ぜひ、皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

4. その他

池田委員長

その他、各委員から何かございますか。

木幡副委員長

9月と10月に、幼稚園から親御さん対象に食育の講話を依頼されています。テーマとしていただいたのが、子どもの年齢に合わせて何の栄養が必要か、というものです。ただ食べるのではなく、もっと詳しく理解したいという要望がありました。教育委員からの依頼なのですが、そのような希望がありました。

朝食については、熱中症が朝食を食べることで防げるという話がありますので、伝えていきたいです。私自身が見聞きする中では、朝ごはんを食べている人が多いけれど、色々なご家庭がある、ということをお報告させていただきます。

木下委員

木幡先生がおっしゃっていたこともその通りだと思います。なにより、一人一人にお声がけしていく、啓発活動というのも大きな活動だと思います。続けていくことが何よりも改善につながると思いますので、これからも皆さんでやっていけたらと思います。

木幡副委員長

木下委員がお料理教室されていると伺いましたが、私もしております。その際には栄養の話をしています。大根にはこういう栄養があって、旬の時期はこうで、と話をすると、実際に取り入れてくれる確率が上がるのではないかと考えておりますので、小さな啓発をしています。

木下委員

どのように実践したらいいか、わからない方がいらっしゃるようです。塩分を控えたいというお声も多いので、簡単にできることを伝えていきます。カリウムを摂取して塩分の排出を促すために、毎食ミニトマトを取り入れてください、めかぶを1パック足すのはどうですか、など、「これならできる」というものを提案していくと、少しずつでも改善していくと思います。皆さんで取り組めたらと思います。

池田委員長

貴重なご意見ありがとうございました。

4. 閉会

池田委員長

それでは、以上をもちまして、令和7年度函館市食育計画策定推進委員会を終了いたします。お忙しい中、ご出席いただきありがとうございました。